

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工手順は、「Gフレーム 取付説明書（E248）G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。
- 担当工事が終了後、次工程の工事担当者に取付説明書を渡して引継ぎを行なってください。
- 施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

<施工上のご注意>

注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工工事の担当範囲に未施工箇所がないことを十分に確認したうえで、取付説明書を次行程の担当者に渡してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆりみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

1. 施工の前の重要確認事項 ※施工時には下記の事項を厳守してください。

1-1 柱・フレーム施工状態の確認

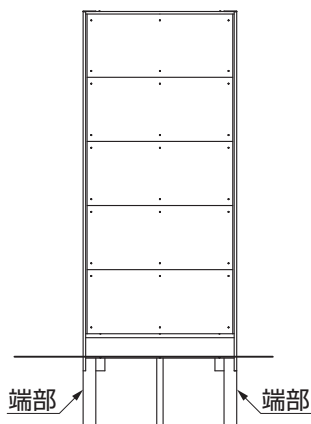


図1-1 単独施工の場合

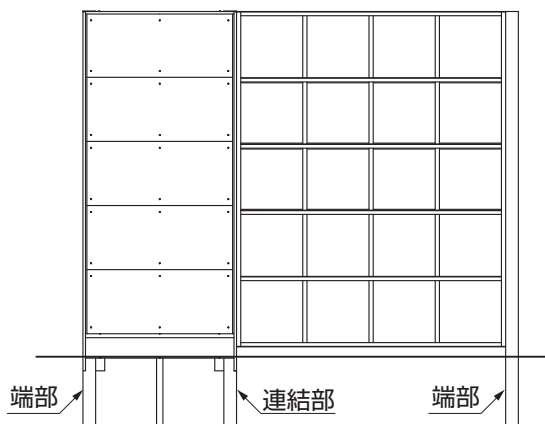


図1-2 スクリーン取付け(※1)の場合

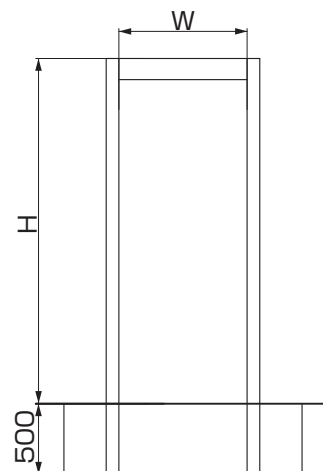


図1-3 フレーム施工について

表1-1

		H24				H29			
		柱		サブ柱		柱		サブ柱	
		端部	中間	端部	中間	端部	中間	端部	中間
サイディング壁	W05	○	※1	—	—	○	※1	—	—
	W10	○	※1	—	—	○	※1	—	—

表1-2

	H
H24	2450
H29	2905

表1-3

	W
W05	410
W10	910

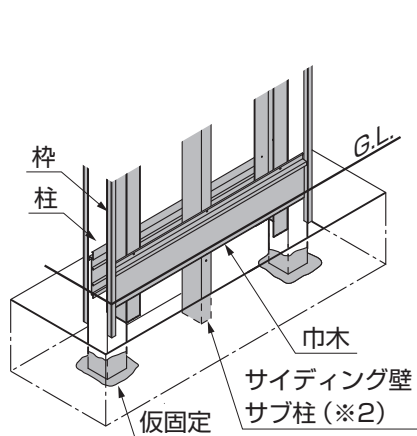


図1-4

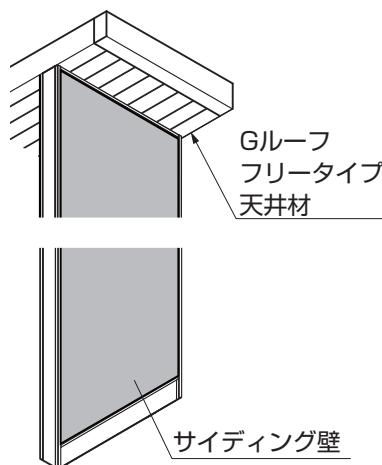


図1-5

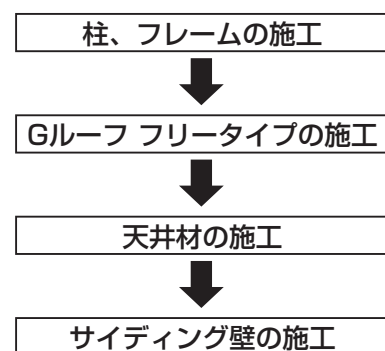


表1-3 施工の流れ

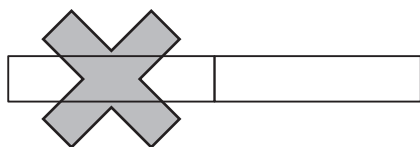
ポイント

- ※1は取付スクリーンによって異なります。「Gフレーム 取付説明書 (E248) 1 施工前の重要確認事項 1. 設計上・施工上の条件について 1-1 柱強度区分」に従って柱補強材を取付けてください。
- 柱の基礎打設前であることを確認してください。(図1-4参照) 基礎打設後の場合、柱、幅木、サイディング壁サブ柱(※2)の取付けができません。
- 図1-5のような納まりの場合、「Gルーフ フリータイプ 天井材」取付け後サイディング壁の取付けを行なってください。その際サイディング壁取付けまでは基礎の打設を行わず柱元仮固定で「Gルーフ フリータイプ 天井材 (E257)」の取付けを行なってください。(表1-3参照)
- フレーム施工寸法を確認してください。(図1-3、表1-2参照)

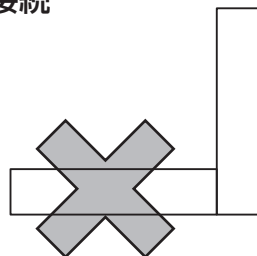
1. (つづき)

1-2 サイディング壁の施工条件 ※下記に示す場合は、施工できません。

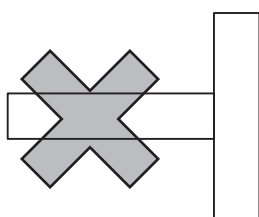
(1) 直線接続



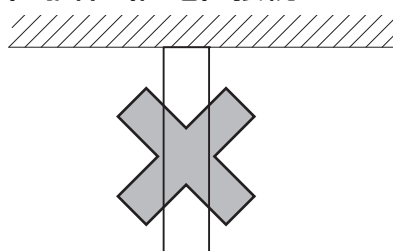
(2) L接続



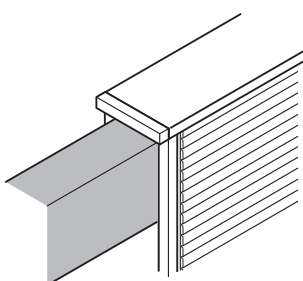
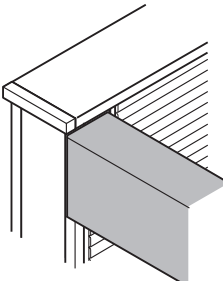
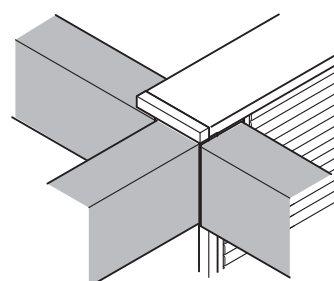
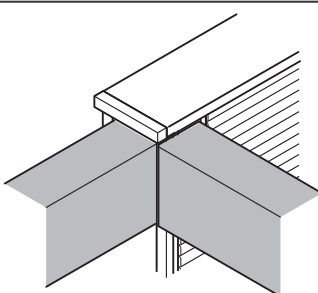
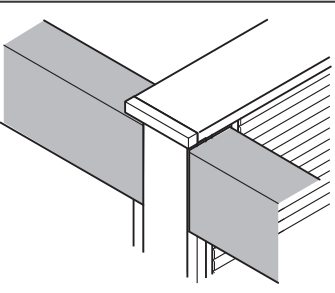
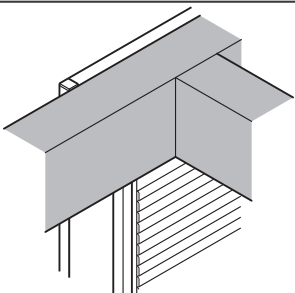
(3) T接続



(4) 躯体（住宅）接続



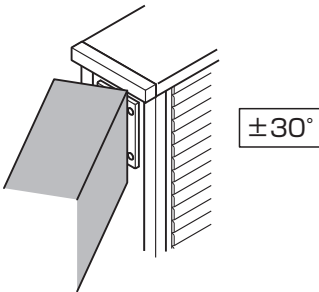
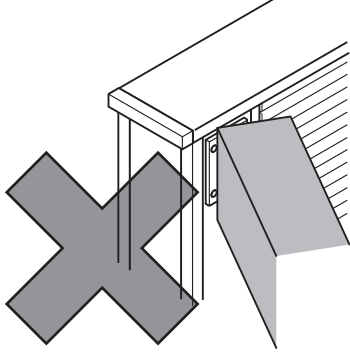
1-3 サイディング壁とフレームの接続

一方向		三方向
		
※フレーム（標準・門）を使用してください。	※フレーム（標準・門）を使用してください。	※フレーム（標準・門）を使用してください。
二方向		フレーム上乗せ
		
※フレーム（標準・門）を使用してください。	※フレーム（標準・門）を使用してください。	※フレーム（標準・門）を使用してください。

ポイント

- 上記表にしたがって施工してください。

1-3 角度調整部材による施工

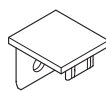
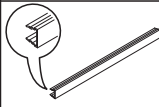
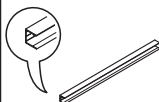
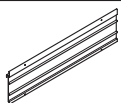
サイディング小口接続	※1
 ※フレーム（標準・門）を使用してください。	

ポイント

- 角度調整部材を取付けたフレームへのフレームデザインカバーの取付けはできません。
- 角度調整部材はサイディング壁小口以外への取付けはできません。（※1）

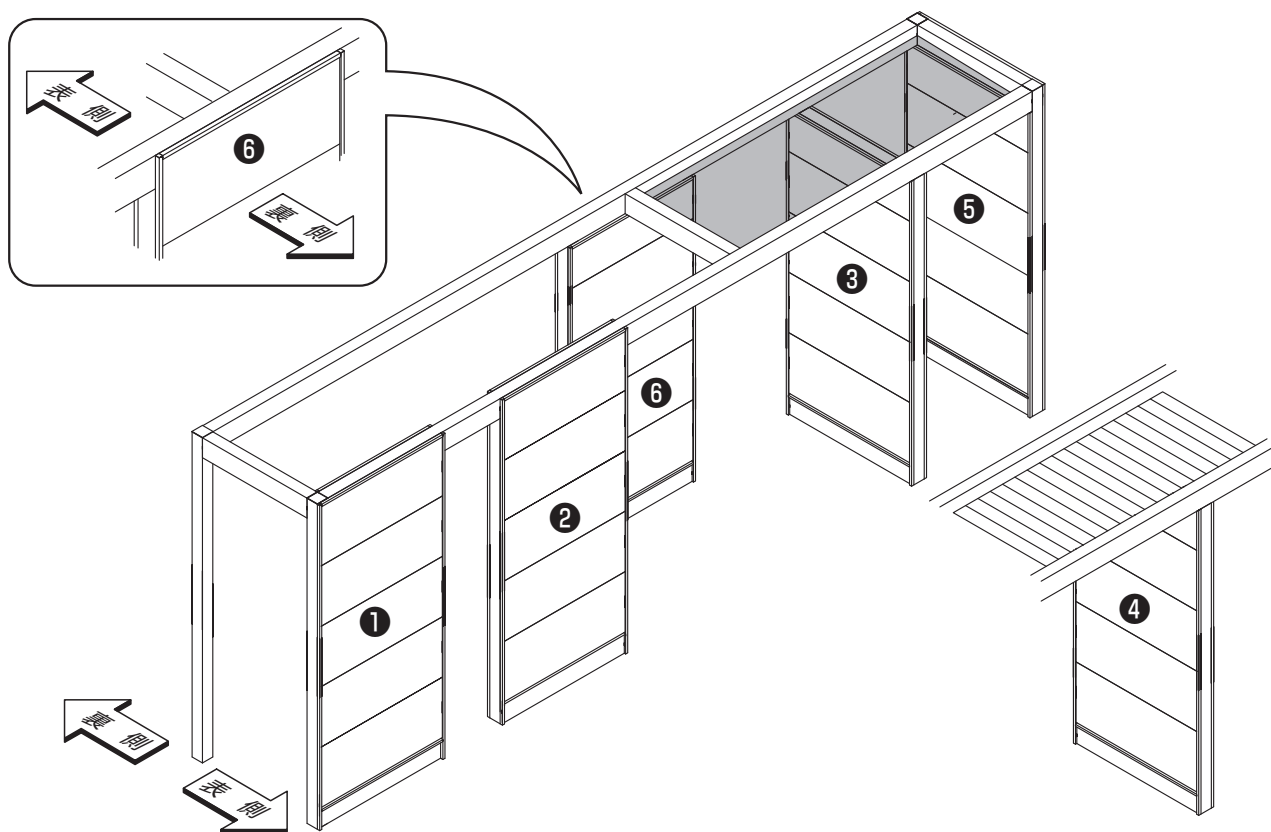
2. 梱包明細表

【1】サイディング壁セット

名 称	略 図	員 数				名 称	略 図	員 数			
		H24 W05	H24 W10	H29 W05	H29 W10			H24 W05	H24 W10	H29 W05	H29 W10
切詰めパネル取付部材		2	2	2	2	サイディング枠キャップ		4	4	4	4
枠		4	4	4	4	上部バックアップ クッション材		2	2	2	2
上部枠カバー		2	2	2	2	【1-1】φ3.8×25 ステンレスフレキねじ		42	62	50	74
サイディング壁 サブ柱		—	1	—	1	【1-2】φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		44	48	50	54
上部枠		2	2	2	2	【1-3】φ5×16 ナベドリルネジ		24	24	28	28
巾木		2	2	2	2	取付説明書 サイディング壁〈C388〉	—	1	1	1	1
						取扱説明書 サイディング壁〈UC020〉	—	1	1	1	1

4. 納まりパターン

※サイディング壁の「柱」は、Gフレームの柱、中間柱を使用します。
納まりに合った柱施工がされている事を確認してください。



①	②	③	④	⑤
フレーム端部納まり	フレーム上乗せ納まり	ルーフ上乗せ納まり	天井上乗せ納まり	独立納まり
柱 柱	柱 中間用 柱 中間用	柱 中間用 柱 中間用	柱 中間用 柱 中間用	柱 柱
⑥ 片側変則納まり（片側フレーム露出）				
		サイディングパネル フレーム露出 裏側 表側 サイディングパネル フレーム露出箇所 側面図		
表側 (例)	裏側 (例)			
柱 中間用 柱 中間用	柱 中間用 柱 中間用			

ポイント

- 「⑥ 片側変則納まり」は、片側のフレームが露出しているタイプで、反対側がその他のタイプで施工する場合です。表裏どちら側でも、フレーム露出タイプにする事は可能です。

5. 基礎の施工

5-1 フレーム取付けの場合

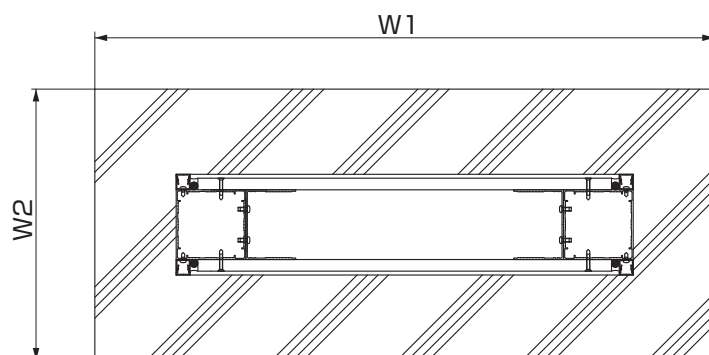


図5-1

ポイント

- 埋込み深さは、全て500mmです。

表5-1 W40以下のフレーム取付けの場合

	W1	W2
W05	800	350
W10	1300	

表5-2 W40以上のフレーム取付けの場合

	W1	W2
W05	800	400
W10	1300	500

5-2 スクリーン取付けの場合

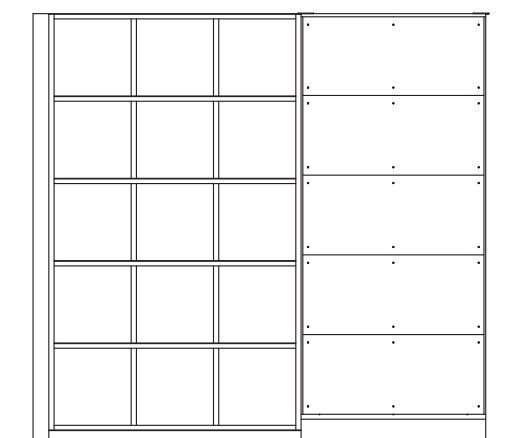
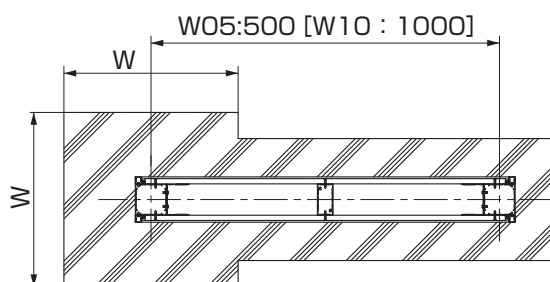


図5-2 片側にスクリーンを取付けた場合

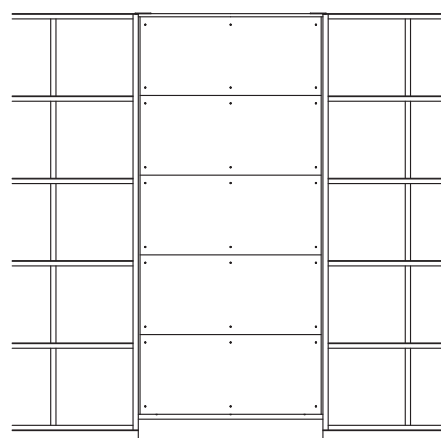
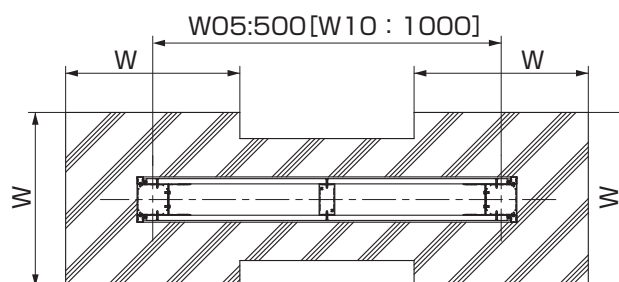


図5-3 両側にスクリーンを取付けた場合

ポイント

- 埋込み深さは、全て500mmです。
- スクリーン取付け側の基礎寸法Wは柱のスクリーン取付け時基礎サイズと同じ寸法になります。
「Gフレーム取付説明書」(E248)を参照してください。
- 門扉取付け時等も同様に柱の基礎寸法が変わる場合は、「Gフレーム取付説明書」(E248)を参照してください。

6. サイディング壁の組立て

6-1 パネル取付部材巾木の取付け

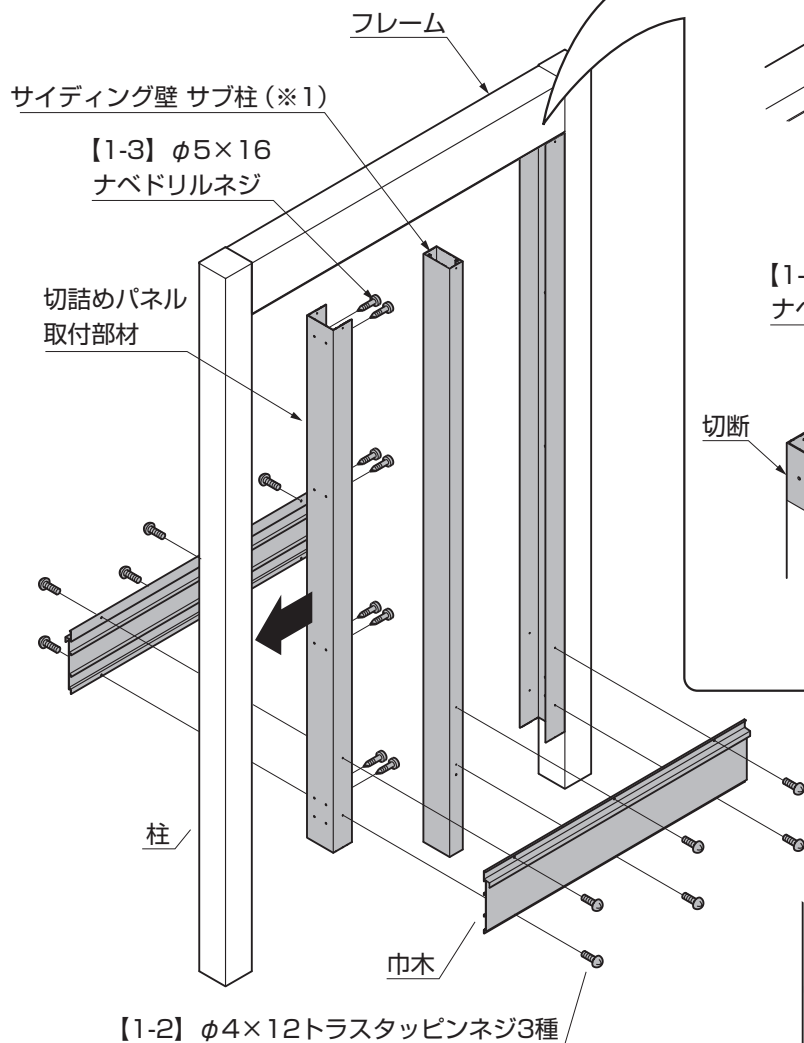


図6-1

表6-1

	A
スクリーン取付けの場合	90
門扉取付けの場合	調整金具H 90
	調整金具O 100

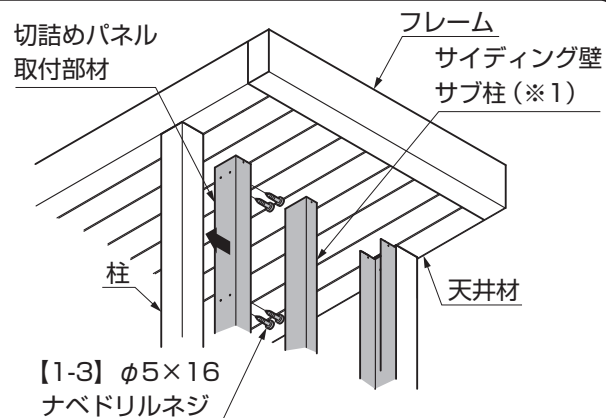


図6-2 天井上乗せ納まりの場合

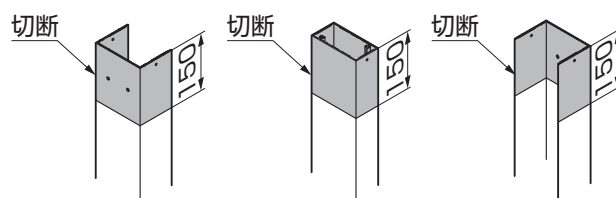


図6-3 ルーフ上乗せ納まりの場合

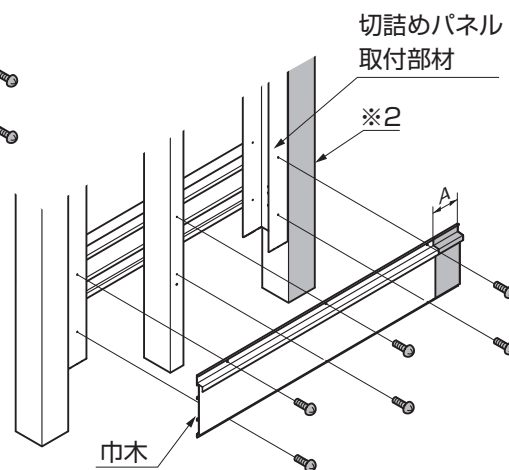


図6-4 スクリーン、門扉取付面の加工

補足

- 図はサイディング壁W10の説明ですがW05も同様な取付けです。ただし、W05の場合、サイディング壁サブ柱(※1)は使用しません。

- ①切詰めパネル取付部材を【1-3】で柱に取付けてください。
- ②巾木を【1-2】で切詰めパネル取付部材、サイディング壁サブ柱(※1)に取付けてください。

ポイント

- 「4. 納まりパターン」の「④ルーフ上乗せ納まり」を施工する場合は、図6-3を参照して部材を150mm加工してください。
- ※2の面にスクリーン、門扉を取付ける場合、巾木の切断加工が必要になります。(図6-4、表6-1参照)

6. (つづき)

6-2 枠・上部枠の取付け

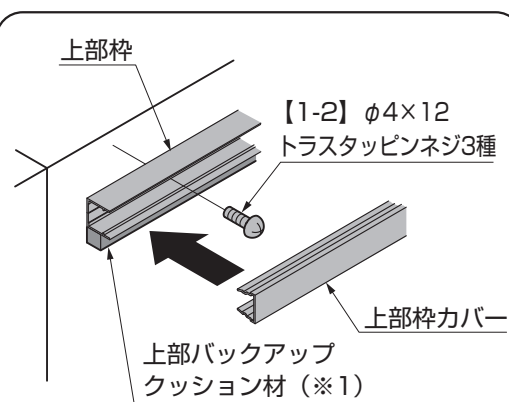


図6-7

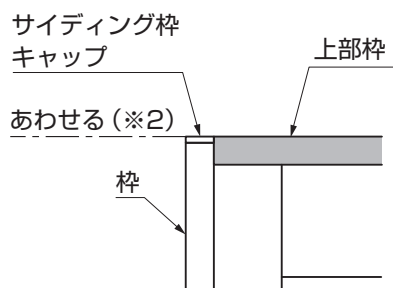


図6-8

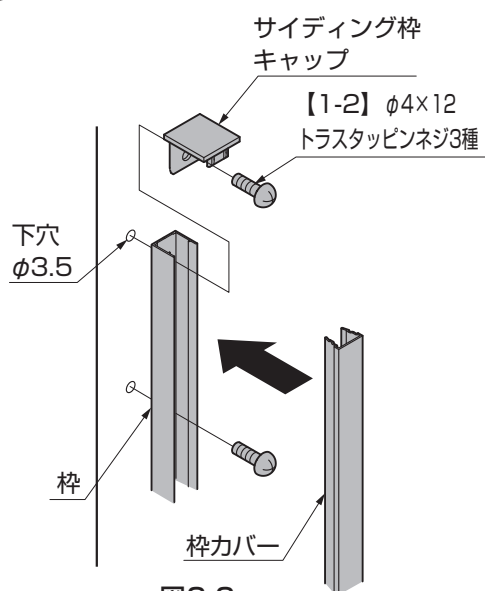


図6-6

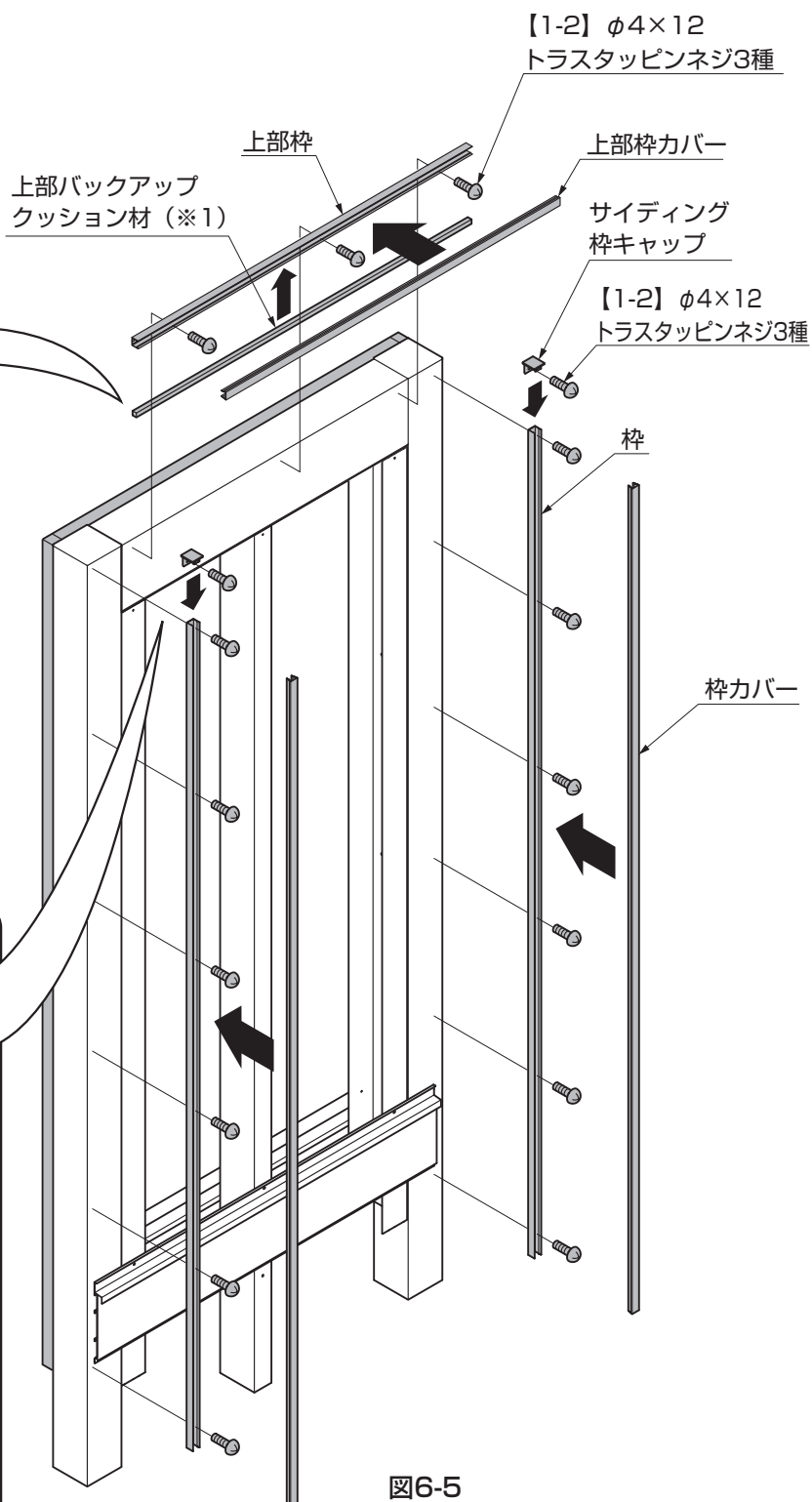


図6-5

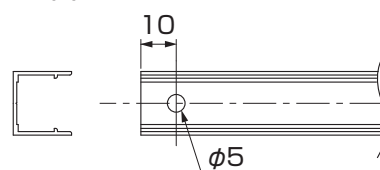


図6-13 枠の穴加工

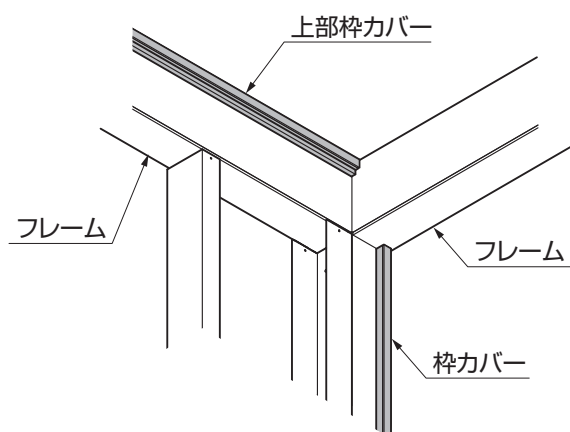


図6-9 フレーム取付けの場合

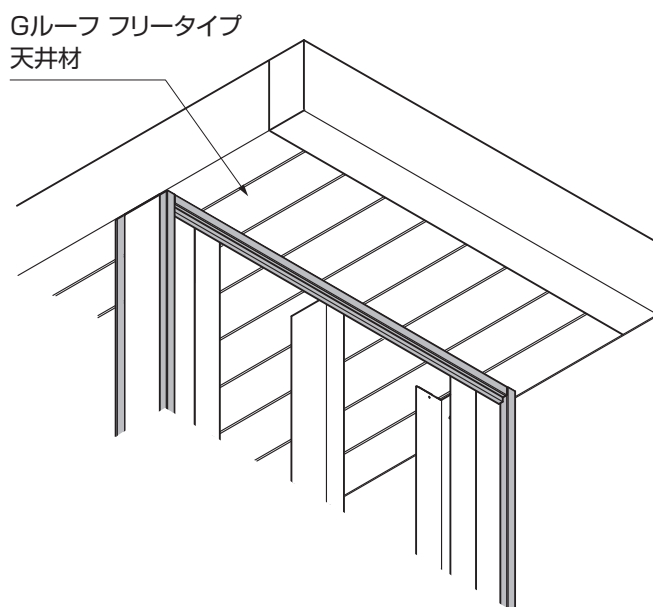


図6-10 天井上乗せ納まりの場合

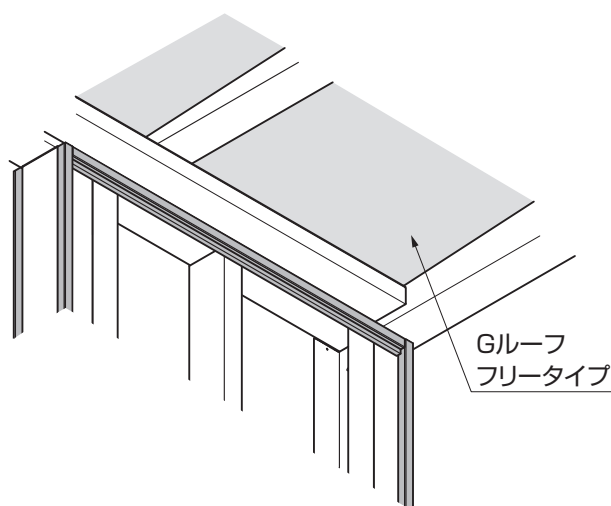


図6-11 ルーフ上乗せ納まりの場合

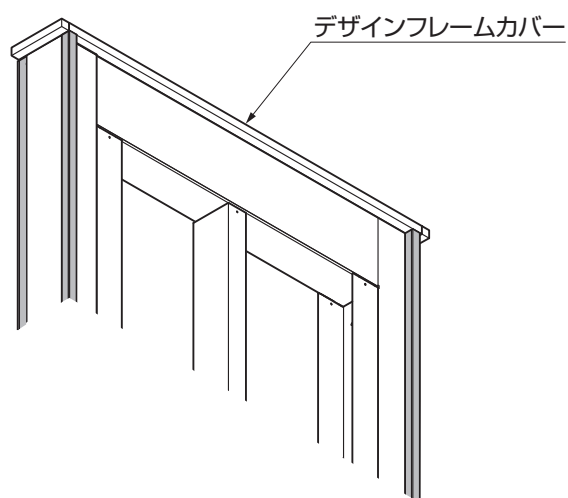


図6-12 デザインフレームカバー
取付け場合

- ①柱にφ3.5の下穴をあけて枠、サイディング枠キャップを【1-2】で取付けてください。(図6-6参照)
- ②上部枠へ上部バックアップクッション材(※1)を貼付け【1-2】でフレームに取付けてください。(図6-7参照)

ポイント

- 上部バックアップクッション材(※1)をサイディング壁W05に取付ける場合、554mm切断して使用してください。
- 各イラストを参考に枠、枠カバー、上部枠、上部枠カバーの加工・取付けを行なってください。
- サイディング枠キャップと上部枠の上端(※2)をあわせてください。(図6-8参照)
- 図6-10、図6-11の納まりの場合、上部枠は切詰めパネル取付け部材、サイディング壁サブ柱に取付けてください。
- 枠、上部枠を切断した場合、取付け穴を図6-13に従って加工してください。
- 図6-12のようにフレームにデザインフレームカバー取付けの場合は上部枠の取付けは不要です。
- 枠カバーが落ちないように養生してください。

6. (つづき)

6-2 つづき

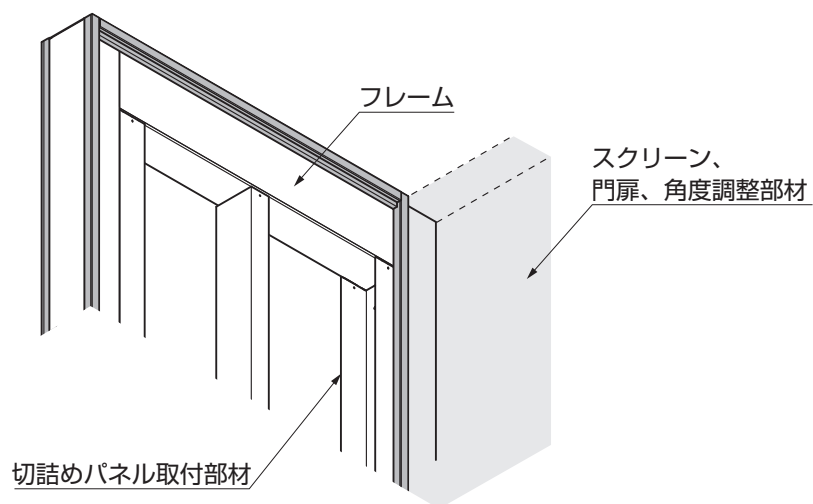


図6-14 上部 スクリーン、
門扉、角度調整材取付けの場合

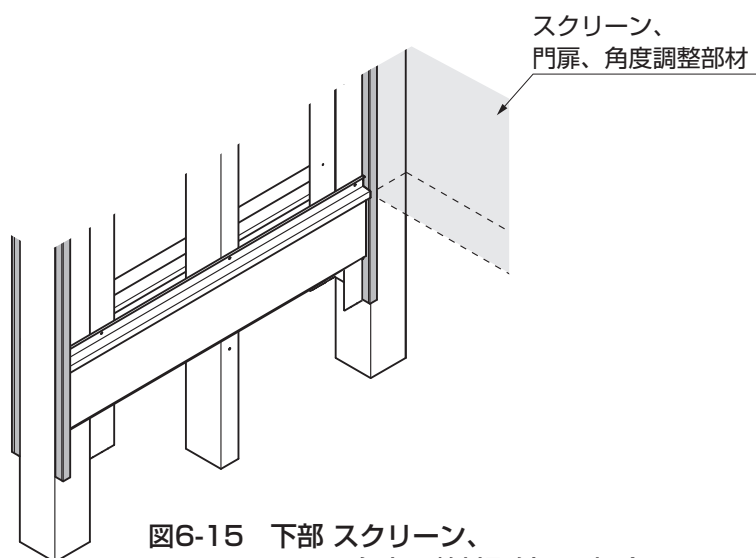


図6-15 下部 スクリーン、
門扉、角度調整材取付けの場合

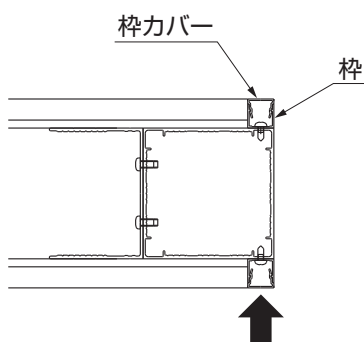


図6-16 断面 通常施工の場合

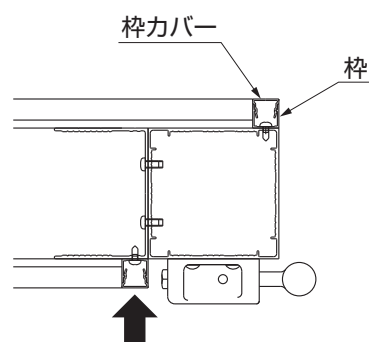
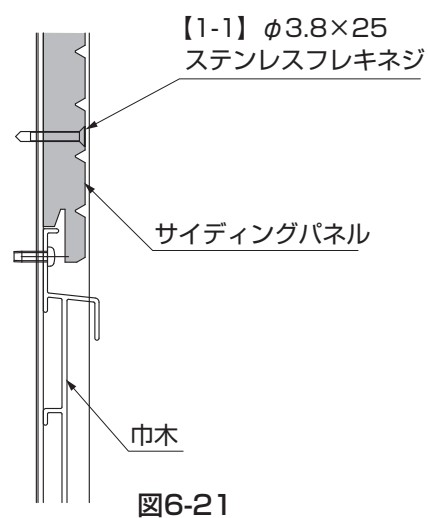
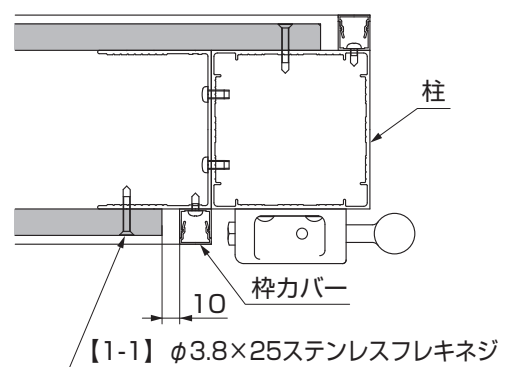
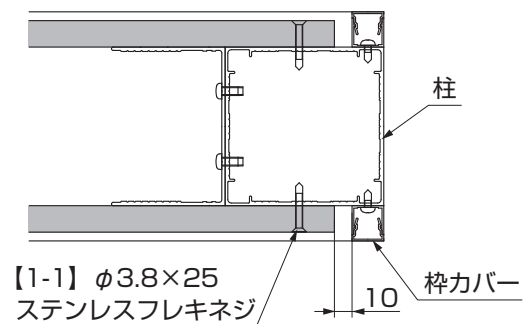
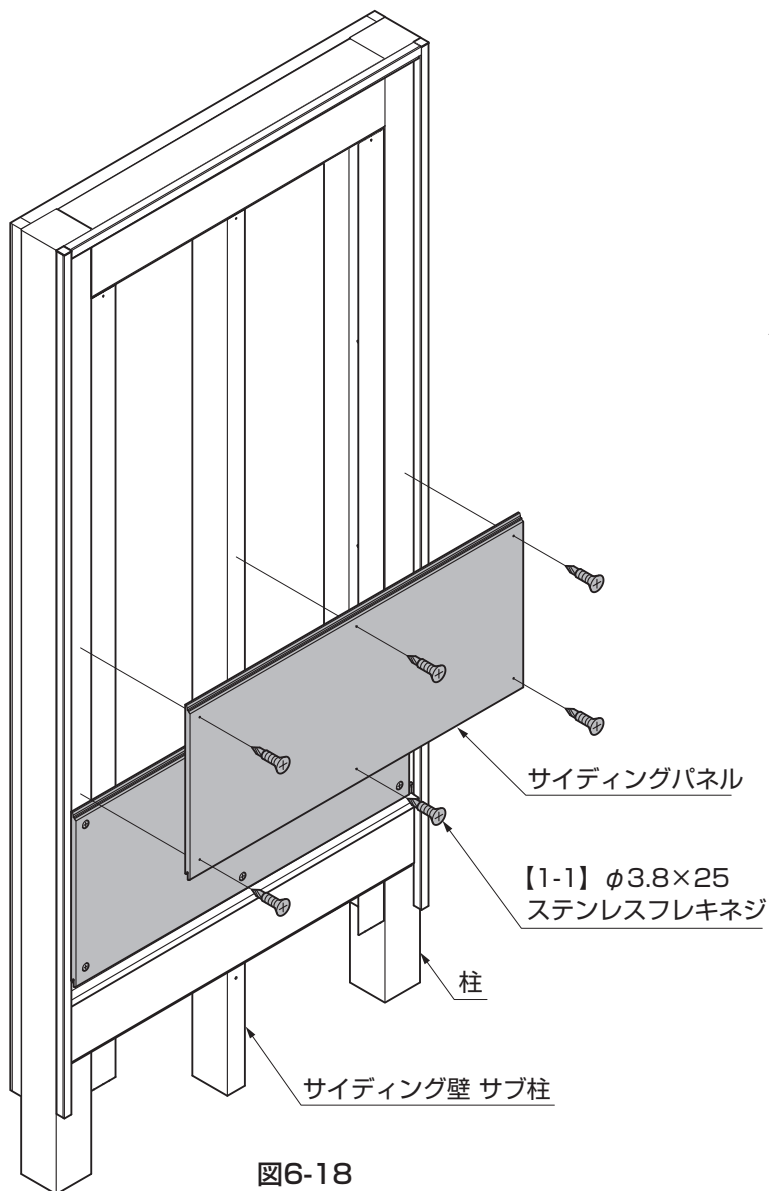


図6-17 断面 スクリーン・門扉
角度調整部材取付けの場合

ポイント

- スクリーン、門扉、角度調整部材取付けの場合、巾木と枠の納まりは図5-14、図5-15、図5-17を参考にしてください。

6-3 サイディングパネルの取付け



①サイディングパネルを【1-1】で取付けてください。(図5-18、図5-19、図5-20、図5-21参照)

ポイント

●サイディングパネルの取付けは、左右のすき間が同じになるように調整して取付けてください。

6. (つづき)

6-3 つづき

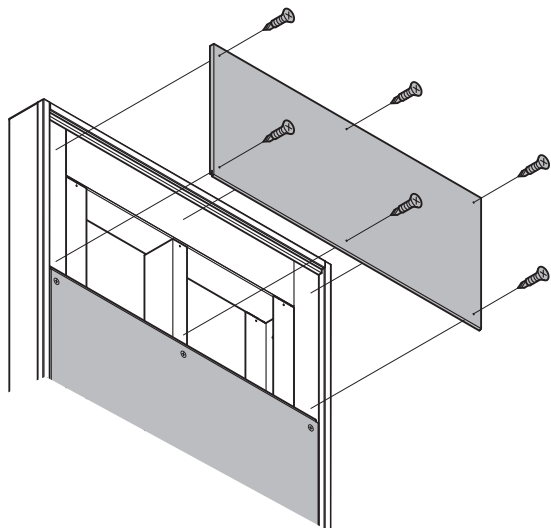


図6-22 通常施工の場合

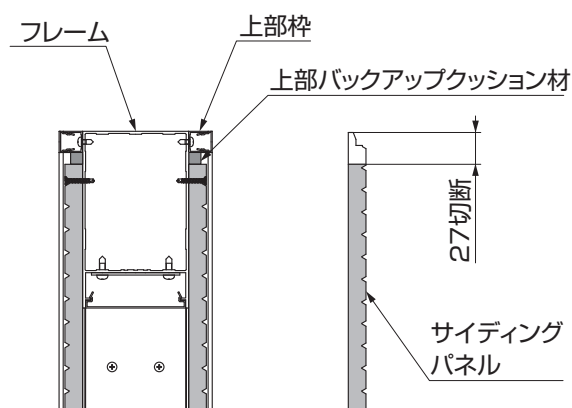


図6-23 通常施工の場合の
サイディングパネルの加工

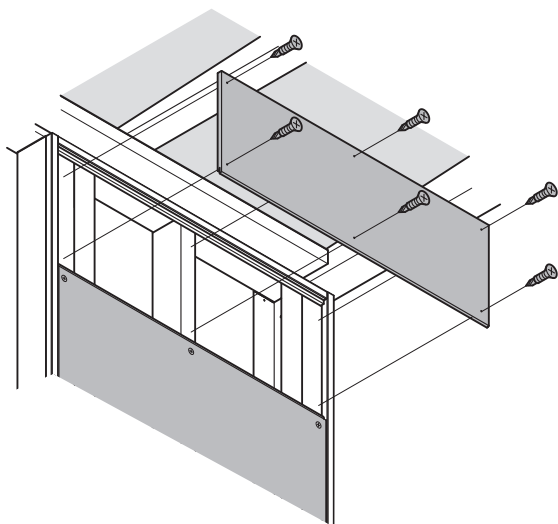


図6-24 ルーフ上乗せ納まりの場合

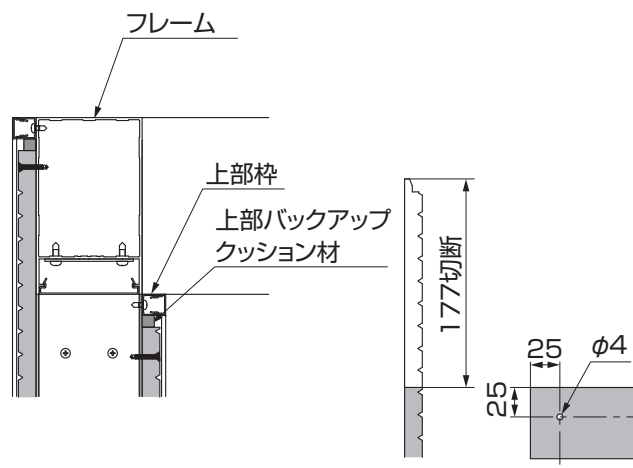


図6-25 ルーフ上乗せ納まりの場合の
サイディングパネルの加工

ポイント

- 最上部のサイディングパネルは現場の納まりに合わせて加工してください。

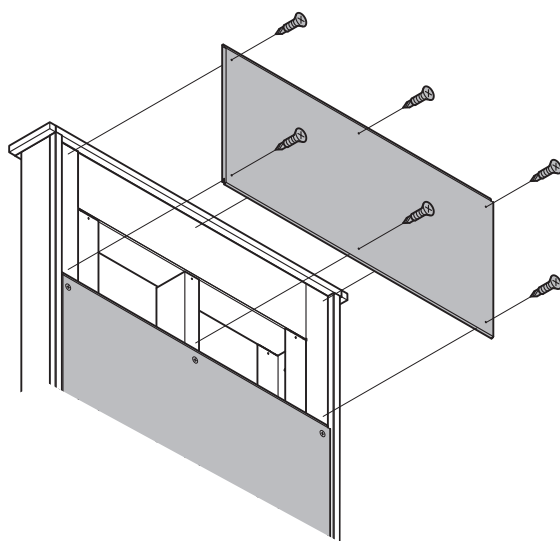


図6-26 デザインフレームカバー
取付けの場合

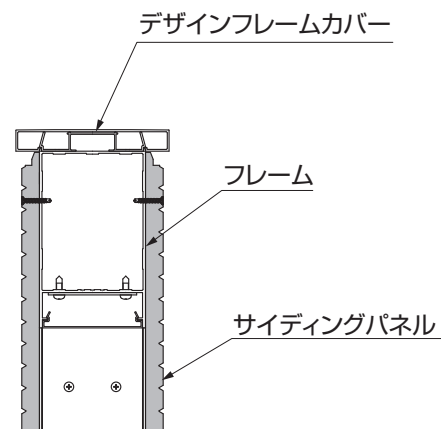


図6-27 デザインフレームカバー
取付けの場合

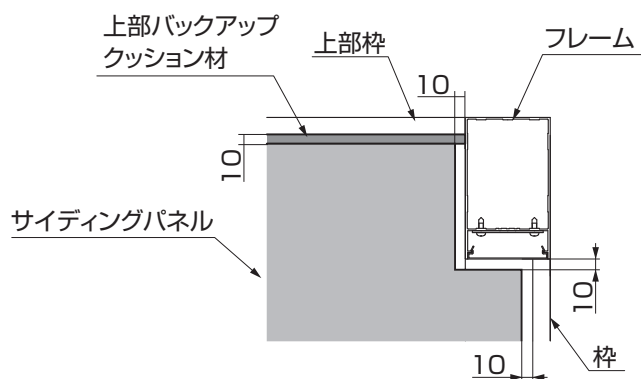


図6-28 フレーム垂直施工の場合

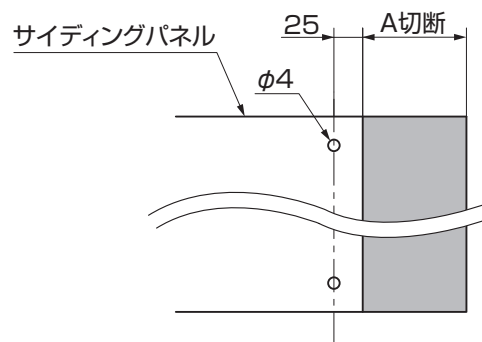


図6-29 サイディングパネルの加工

表6-2

		A
スクリーン取付けの場合		90
門扉取付けの場合	調整金具H	90
	調整金具O	100

ポイント

- 最上部のサイディングパネルは現場の納まりに合わせて加工してください。
- フレーム垂直施工の場合のサイディングパネル切断後、φ4の下穴をあけてください。(図6-29、表6-2参照)

7. シーリング処理

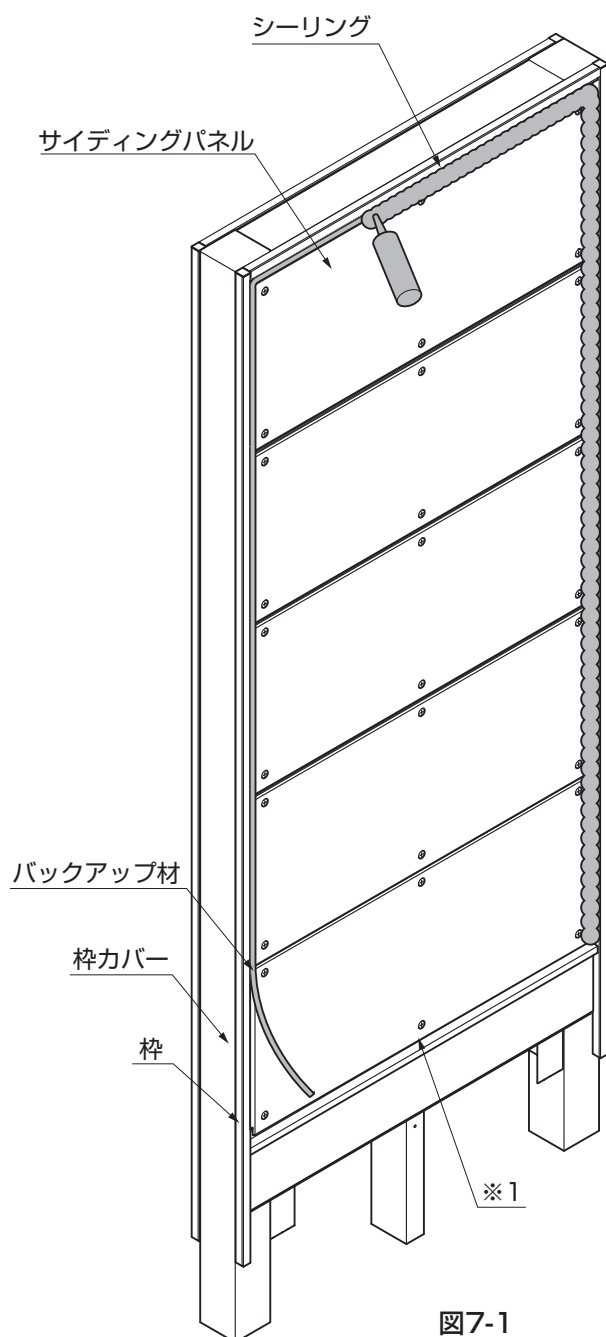


図7-1

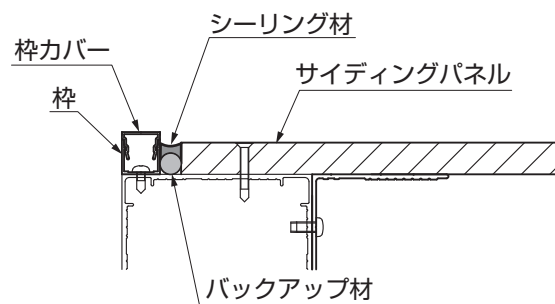


図7-2 通常施工の場合

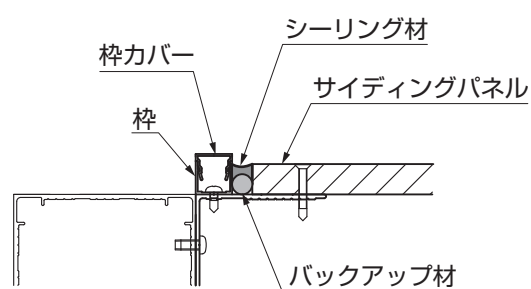


図7-3 スクリーン、調整金具取付けの場合

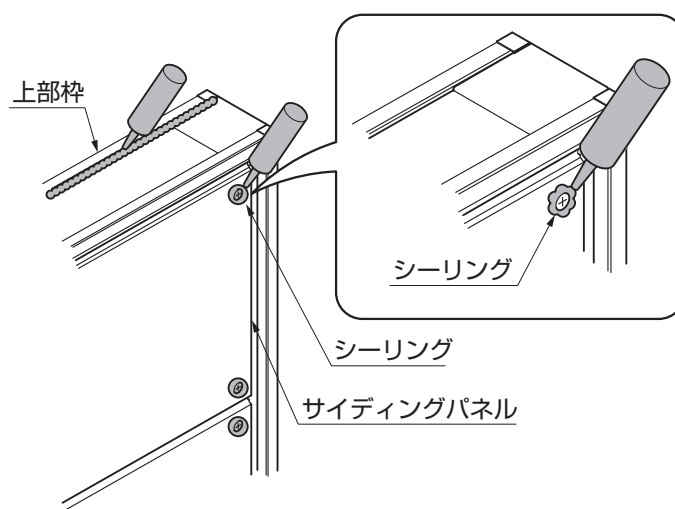


図7-4 ネジ部のシーリング

- ①バックアップ材を上、左右にはめ込み、シーリングをしてください。(図7-1、図7-2、図7-3参照)
- ②サイディングパネル取付けネジ頭にシーリングをしてください。(図7-4参照)
- ③上部桤、フレームの接続部にシーリングをしてください。(図7-4参照)

補足

- ※1の部分にはシーリングをしないでください。

取説コード

C388

JZZ617806C
200903A_1039
201607D_1048